4 生活について

(1) 生活のきまり

●はじめに — 安心・安全に通うことのできる学校を、自分たちの手で創る

本校の生徒たちは、いじめ0の学校を目指した活動に取り組んできました。令和4年度前期生徒会執行部は、「いじめゼロを目指すには、自分たちの手で学校をよりよくしていく必要がある」と感じ、「校則見直しプロジェクト（通称「KMP」）」という活動を考えました。

KMP実行委員会が新しい校則の草案を提案した当時、その活動にかけた思いを記しました。その時の文章を以下に紹介します。

校則の意義を理解し、自ら校則を守ろうとする意識を養うだけでなく、自分たちの手でよりよい学校を創ろうとする気持ちが、本校に脈々と受け継がれていくことを願っています。

私たちKMP実行委員会は、安心して過ごすことのできる刈谷南中学校を創るための一つの手段として、よりよい校則を制定しようと活動してきました。校則を見直す中で、「必要かつ合理的か」、「相手満足」、「清潔感」の三つの視点を意識して、全校生徒の意見や先生方の意見、外部の方の意見を取り入れ、このたび新しい校則の案を作成しました。

南中は「生活三訓」や校訓「新風」を大切にしてきました。いじめ0を目指す上で、全校生徒でアイデアを出し、工夫を重ねることが、南中の伝統となってほしいと思います。また、「生活三訓」に掲げた「正しい身なり」がその時代の南中生にとって適切であるよう、校則は常に見直される新風であってほしいと願いを込めました。

●服装について

①制服

- 以下の3点から、自分に合ったものを選択して着用してください。
 - * 刈谷市指定のブレザーと、スラックスもしくはスカート
 - * 全国標準学生服（標準マーク付）の学生服（いわゆる「黒学ラン」・黒ズボン）
 - * 本校指定の標準セーラー服（リボンや襟カバーを含む）及びスカート
- ブレザーや学生服の場合、白のカッターシャツや開襟シャツを着用してください。長袖や半袖などを、各自で気候や体調に応じたものを選んでください。
- 体形に合ったサイズを選んでください。スカートは、ひざが隠れる長さとしします。
- 紺色のセーラー服に着用する襟カバーは、汚れから制服を守るためのものです。常時着用するものですが、式典などの際は外すようにしましょう。
- ベルトについて、スラックスやズボンには黒色で適当な幅の物を用意してください。スカート着用時のベルト利用は任意としますが、ブレザータイプのスカートには華美でない色で伸縮性のあるメッシュベルト（雑材ベルト）を、セーラー服には専用のベルトを利用してください。

②体操服

- 学校指定の体操服シャツ、ハーフパンツ、ジャージ、ウインドブレーカーを着用します。
- 体育の授業における服装については、授業の中での指示に従ってください。また、暑さ対策としての「体操服登校」や、寒さ対策としての「校舎内でのウインドブレーカー着用」については、別途記載します。

③靴

- 校舎外では白色でひも付きの運動靴をはきます。靴底や側面などに着色されているものは使用しません。なお、中敷きの色は問いません。
- 校舎内ではスリッパ、体育館では体育館シューズをはきます。学校指定のものを購入してください。学年ごとに色を指定しています。
- 靴はかかとに、スリッパは指定部分に記名をお願いします。
- 雨天時にはレインシューズをはいてもよいです。ただし、昇降口の靴箱がそこまで大きくないため、高さのあるレインシューズがしまいにくいことをご了承ください。

④名札

- 学校生活では、制服の左ポケットに名札をつけます。名札の裏側にはあらかじめクリップや安全ピンがついています。防犯のため、登下校時は名札をつけません。
- 名札は入学式の日に配付します。3年間大切に使いましょう。紛失した場合は、先生に申し出てください。
- 令和4年度以前に入学した生徒は、黒や紺の台布に名札を縫い付け、銀色の安全ピンで制服につけましょう。台布に校章をつけることは任意とします。

⑤その他着用するもの

- シャツや体操服などの下には、白・黒・紺・茶・灰・ベージュを基調とした無地の肌着を着用します。ワンポイントがついていてもかまいません。なお、シャツの下に体操服を着てもかまいませんが、学校としては特にそのような想定はしておりません。
- 寒さを感じる場合、ブレザーや学生服、セーラー服の下にベストやセーターなどを着用してもかまいません。白・黒・紺・茶・灰・ベージュを基調とした華美ではないものとし、一番上に着ている制服からできるだけ見えないよう、配慮をお願いします。
- 靴下は、白または黒とします。無地かワンポイント（白・黒・紺・茶・灰・ベージュの単色）のものを用意してください。なお、くるぶしが見えるソックスははきません。
- 防寒用としてタイツをはく場合、黒または自分の肌色に近いものとします。靴下ははかなくてもよいですが、体育の授業などで運動する場合は、靴下をはくこととなりますので、持参をお願いします。

●気候や体調に応じた適切な制服を選ぶことについて

①基本的な考え方

- 気候の変化が激しく、急に暑くなったり、寒くなったりすることがたびたびあります。本校では生徒の健康に配慮するため、いわゆる「衣替え」などの服装を規定する期間を設けていません。一年を通じて、各自で気候や体調に応じた適切な制服を選択し、登校してください。
- 式典や行事、高校入試においては、学校から決められた服装で参加してください。特に、入学式・1学期始業式や文化学習会、2学期終業式、3学期始業式、予餞会、卒業式、修了式については、いわゆる「冬服」で参加します。

②暑さ対策について

- 登下校時には、運動時にも使用できるキャップタイプの帽子をかぶりましょう。また、日傘や黒のアームカバーを使ってもかまいません。帽子や日傘について、色や模様指定はありません。
- タオルを活用してください。徒歩における登下校では、首にタオルをかけて日差しから守ったり、汗をぬぐったりしてください。冷却タオルの使用もかまいません。また、プールの授業の後には、その後1時間程度はタオルを首にかけ、濡れた髪で首元が冷えないようにしましょう。

- 6月1日から10月に行われる体育大会当日まで、体操服及び学校指定ポロシャツで登校し、授業やテストを受けてもよいです。
- ポロシャツは制服シャツの洗い替えとして導入したものであり、購入については任意としています。学用品店としての販売はありませんので、入学後に別途ご案内します。ポロシャツは運動時には着用しません。また、暑さ対策のため、ポロシャツをスラックスやスカートにしまうことはしなくてもよいです。制服同様、学校生活ではポロシャツに名札をつけてください。
- 校舎内で冷房による寒さを感じる場合は、ジャージをシャツの上に羽織ることで対応してください。
- 制汗シートやスプレーを使用する場合、無香料のものとするように配慮してください。
- 長袖の腕まくりは、社会通念上マナー違反とされることが多いようです。腕まくりの禁止を校則として定めることはしませんが、学校生活の中でもマナーを守る意識が育まれるとよいと考えます。

③寒さ対策について

- 防寒着として、学校指定のウインドブレーカーを使用してかまいません。卒業生のウインドブレーカーを活用していただいてもかまいません。卒業年度によってメーカーやラインの色などが違う場合がありますが、問題ありません。
- ネックウォーマーは華美ではない色のもの、安全面に配慮したもの（首から不意に外れる恐れのないもの）に限り、室外において使用してかまいません。なお、ボタンで着脱するタイプや、差し込んで着用する「ティペット」、「スヌード」、フード付タイプは使いません。また、マフラーは安全面から使用を禁止しています。
- 手袋は華美ではない色のものを、室外において使用してかまいません。なお、自転車通学者に対しては、ハンドルやブレーキを握りやすくするよう、五本指タイプのものをおすすめします。
- コロナ禍においては、寒い日であっても室内の換気をしなければなりません。そのため、暖房がうまく届かず、室内であっても寒く感じることもあるかもしれません。その場合、上下ジャージやウインドブレーカーを制服の上に羽織ってもかまいません。
- 使い捨てカイロを持ってきてもかまいません。ただし、持ち帰って自宅で処分をしてください。
- 肌の乾燥を防ぐために、リップクリームやハンドクリームを使用する場合は、無色・無香料のものとするように配慮してください。また、ウイルス除去・除菌製品（「クレベリン」などの空間除菌剤）を使用する場合、ペン型で白・黒色のものとします。首からは下げず、制服の胸ポケットに入れて使用してください。

●頭髪等について

- 清潔で、運動や勉強に差し支えない髪型としましょう。
- 前髪は目にかからない程度としましょう。
- 整髪料は使用しません。また、染めたり、脱色したり、パーマをかけたりすることはしません。ただし、縮毛矯正などをするについてはこの限りではないので、事前に相談してください。
- 後ろのえりがかくれる長さになったら、帽子やヘルメットをかぶるのに支障がない高さや方法で、一つまたは二つに結んでください。一つに縛れない長さの場合、ハーフアップで結んでもかまいません。
- 髪をしばる場合、横髪が出ないように配慮をしてください。なお、ヘアゴムは黒・茶・紺、アメピン、パッチンピンなどは黒とします。
- 長さにかかわらず、極端なカットや奇抜な髪型にすることはしません。
- 眉毛は身だしなみを整える程度とし、極端に変形させることはしません。
- 爪は短く切りましょう。安全面や衛生面を考慮し、手のひら側から見て、明らかに伸びていることがないようにしてください。

●持ち物について

- 学校指定のリュックを使います。荷物が入りきらない場合は、学校指定のサブバッグを補助的に利用してください。ただし、シューズケースや水泳バッグなど、サブバッグに入りきらない場合は、この限りではありません。
- 学習に最低限必要な物を持参しましょう。リュックやサブバッグ、筆箱などにキーホルダーやアクセサリを付けません。お守りや鍵、身分証明書など、必要であるものは内側に保管しましょう。
- 筆記用具として、シャープペンシルや鉛筆（数本）、消しゴム、下敷き、直定規（12cm程度の物）、色ペンや蛍光ペンを想定しています。なお、高校入試では受験者の心得として、不正行為防止のために、華美な筆記用具を控えるように指示が出ることもあります。本校でも、そのような考えに準じた筆記用具を準備してください。また、ノートをとる上で、付箋紙を利用してもかまいません。
- 荷物を「すべて持ち帰る」ことはなく、宿題の進み具合などを考え、持ち帰るべき荷物を自分で判断するという方針としています。授業では、教科書以外の教材を扱うことが多く、部活動の用具を含めると、毎日の荷物が大変重たくなります。教室内の個人ロッカーに適切に保管をしましょう。
- はさみやカッターナイフなどの刃物は持参しません。
- 傘は記名をしたものを持参しましょう。雨傘は黒や紺の無地がのぞましいこととしています。傘立ては教室前に用意しています。
- 飲料は水筒に入れて持参してください。ペットボトルでの持参は控えてください。中身は水やお茶としますが、休日や長期休業時の部活動、学校が指定した日では、スポーツドリンクを可とします。特に酷暑日は、授業における水分補給の時間を適宜取り入れる配慮をしています。
- タブレット端末を必要に応じて持ち帰る場合は、破損することがないように気を付けましょう。画面は閉じ、画面とキーボードを外さずに持ち帰ります。登下校中は、タブレット端末には触りません。バッグに入れる際には、教科書と教科書の間に挟んで動かないようにしたり、水筒といっしょに入れたりしないなど、大切に扱ってください。

●校内での生活について

- たくさんの方が一斉に活動しています。すみやかに安全な移動ができるよう、先生から動線の指示があったり、使用するトイレの指示をしたりすることがあります。また、盗難などを防ぐため、他の教室や違う学年フロアには入りません。用事がある場合は、近くの先生に声をかけてください。
- 自立・自律ができるよう、本校はチャイムが鳴りません。次の予定を把握し、時計を見て、余裕のある行動をしましょう。特に授業の始まりは「タイムスタート」ができるよう、移動教室や授業の準備、着替えなどをすみやかに行いましょう。
- 8：20から「朝の読書」を行います。静寂の中で読書を楽しんでください。雑誌や漫画でなければ、どのような書籍でも持参してよいです。図書室や学級文庫から借りた本でもよいでしょう。「朝の読書」の最中は、タブレット端末や筆記用具などはすべて机の中にしまします。
- 本校では平成24年度から「無言清掃」に取り組んでいます。「一日の中で、全校のみんながいっしょになって、真剣に取り組むことがしたい」と願った当時の生徒たちが、「一生懸命に清掃に取り組めば、自然となるだろう」という考えの下、「無言清掃」が生まれました。その時代に合った方法でこれまで実施してきましたが、当時の思いは今でも受け継がれています。担当する清掃場所に真剣に向き合うことで、自身の成長につなげてほしいと思います。

(2) 登下校や遅刻・早退・欠席について

●登下校について

- 7：50に昇降口を解錠します。それより早く到着した場合は、校舎内には入らず、昇降口付近で待機してください。

- ・昇降口通過完了を8：10とします。手洗いや手指の消毒などをした後、8：15には教室で荷物を整え、タブレット端末の準備や学級での配付物、読書の準備をしましょう。なお、8：15になっても昇降口を通過しない場合は、正式に遅刻として記録されます。
- ・徒歩通学者は正門・西門・東門のうち最も近い門から出入りをします。自転車通学者は西門を使います。なお、徒歩通学者が臨時的に自転車通学をする場合、正門から入り、体育館北側やクラブハウス前などに駐輪してください。
- ・周りの安全を確保するため、校内やスクランブル交差点では、自転車から降りましょう。
- ・車での送迎の際には、近隣の方のご迷惑となりますので、路上駐車や近隣の店舗へ駐車することはおやめください。正門から入り、正面駐車場まで車を乗り入れていただくことをお願いします。
- ・日没時刻に合わせて、下校完了時刻を設定しています。部活動のある日は、活動時間をなるべく確保するために、着替えをせずに下校してもかまいません。

●欠席・遅刻・早退する場合について

- ・欠席や遅刻をする場合、7：50から8：15の間に、保護者の方から学校に連絡をお願いします。
- ・遅刻して登校したら、昇降口に入っている「遅刻カード」を持参し、職員室に声をかけてください。先生といっしょに授業場所へ行きましょう。
- ・体調がすぐれない場合で、休めば回復しそうなきときは、1時間程度保健室で休みます。症状が重い場合や1時間休養しても回復しない場合は、保護者の方に連絡し、お迎えのをお願いします。ただし、感染拡大防止の観点から、特にかぜの症状が見られる場合、すみやかに早退をお願いする場合がありますので、ご了承ください。
- ・諸事情で生徒一人で早退した場合、無事に帰宅したことを確認するために、帰宅後に電話連絡をしていただくをお願いします。

(3) 校外での生活について

●気を付けてほしいこと

- ・生徒だけの外泊や夜間外出、クリスマス会や忘年会などと銘打った集まりはしません。また、生徒だけのマンガ喫茶・インターネットカフェ・ゲームセンター・カラオケボックス等への出入りはしません。これらは、未成年者が犯罪に巻き込まれるおそれがあると考えられる危険な場所です。
- ・「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました。自転車の乗り方に十分気を付けましょう。信号無視や斜め横断、飛び出し、二列走行は絶対にしません。なお、自転車損害賠償責任保険等への加入義務や自転車乗車用ヘルメットの着用努力義務が加わりました。

●家庭におけるスマートフォンや携帯電話のルールについて

個人のスマートフォンや携帯電話を学校に持参することは禁止としています。やむを得ない事情がある場合、学校までご相談ください。

これまで、スマートフォンや携帯電話に関わるトラブルが多く報告されています。特に本校では、SNSにおけるなりすまし、他人の画像の無断アップロード、誹謗中傷（悪口）、承諾のない入退会手続き、不必要なライブ配信などで大きなトラブルに発展するケースが見られます。

ご家庭の判断でスマートフォンや携帯電話をお子様にもたせる場合、「21時以降は使用しない」「テスト前は保護者に預ける」など、取り扱いのルールについてご家庭で話し合う時間をつくっていただくをお願いします。また、LINEグループなどSNS上のグループ作成や入会は、学校としては必要のないことと考えます。もしもお子様がそのような行動をされていたら、すみやかな解除や退会を促してください。なお、刈谷市教育委員会からの「スマートフォン等携帯端末の安全な使用のお願い」を別ページに掲載しました。ご一読ください。